

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

長期ビジョン

地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する

純利益
400億円以上ROE
7%以上サステナブルファイナ
1.5兆円人的資本投資額
10億円

② 中長期の経営戦略

1. 地方創生SDGsの深化

ヒト・モノ・カネのワンストップ相談でグループシナジーを発揮。
地域やお客さまの経営課題を解決し、持続的発展に貢献

2. イノベーションの創出

2024年5月公表した『ちゅうぎんDX戦略』を実現。リクルート、
松尾研究所、dotData、PwCなどとアライアンス

3. グループ経営基盤の強化

営業戦略ユニットと投資戦略ユニットの2ユニット体制を導入。経
営資源を戦略的に配分し収益性・効率性を向上

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性対応

- ・ 海外経済減速、物価高止まりによる企業収益悪化への懸念
- ・ 地政学リスク高まり（ウクライナ、中東、米中対立）への注視
- ・ 地域経済停滞リスクへの先制的資金供給

② DX推進と業務改革

- ・ ちゅうぎんグループ自体がDX企業グループへの転換
- ・ 業務プロセス変革と共創パートナー連携による新規事業開発
- ・ 地域全体のデジタル浸透と利便性向上

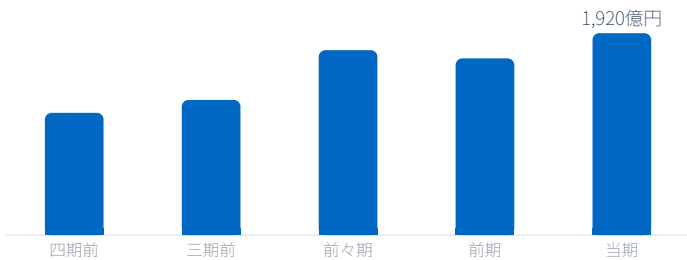
③ 人的資本強化とDEI推進

- ・ 人的資本投資を5億円から10億円に倍増（2025年度以降）
- ・ 中長期的人財育成と従業員定着の両立
- ・ 女性、シニア、障がい者など多様な人財全員の活躍推進

面接で使えるポイント

- ・ Vision 2027で『未来共創プラン』を掲げ、10年間の長期戦略で地域全体の付加価値向上を目指している
- ・ 2024年5月の『ちゅうぎんDX戦略』発表で、リクルートやPwCなど異業種連携を強化している
- ・ サステナブルファイナンスの累計実行額目標を1兆円から1.5兆円へ引き上げ、地方創生SDGsに注力

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
1,920億円営業利益率
－（未開示）財務健康度
28点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 52.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

